

P-A-5

好酸球増加を伴う高齢者の皮膚掻痒症の2例に対する 小青竜湯の効果の検討

Effect of Sho-seiryu-to on elderly skin itching with peripheral eosinophilia

○村田 幸治¹⁾²⁾³⁾, 鈴木 信孝²⁾, 亀井 勉¹⁾²⁾

1) 島根難病研究所, 2) 金沢大学大学院医学系研究科補完代替医療学,
3) 金沢大学大学院医学系研究科がん医科学専攻分子移植学分野

Sho-seiryu-to (SST) is known to be effective against allergic diseases. We previously reported the effect of SST on elderly chronic skin itching with elevated serum IgE levels and peripheral eosinophilia. In the present research, we observed the effects of SST (Kotaro SST extract 7.5g/day) on two elderly patients who had severe skin itching and peripheral eosinophilia without elevation of serum IgE levels. Both patients decreased their peripheral eosinophilia and improved their skin itching condition within one month. SST is also reported to be effective on non-type I allergic reactions. Therefore, we conclude SST could be effective for elderly skin itching with peripheral eosinophilia.

【目的】

高齢者の皮膚掻痒症には、抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤、ステロイド外用剤などが使用されるが、掻痒コントロールが困難なことが少なくない。小青竜湯はアレルギー性鼻炎や気管支喘息等のアレルギー性疾患に対して用いられ、抹消血単核球からのIgE産生や好酸球機能への抑制作用があることが報告されている。我々はこれ迄に、抹消血IgE及び好産球数(Eos)の増加を伴う高齢者の慢性皮膚掻痒症に小青竜湯が有効である可能性を示してきた。今回、抹消血IgE増加はないがEos増加を伴う高齢者の皮膚掻痒症の2例に対して、小青竜湯(コタロー小青竜湯エキス細粒、以下N19)の効果を検討したので報告する。

【症例】

〔症例1〕81歳男性。頸部～前胸部に掻痒が出現し、5日間投薬なしで経過をみたが軽快しなかった。IgE 58 IU/mlであったがEos 360/ μ l (7.1%)を認めたため、N19〔7.5g/日〕を開始。約4週間後、Eos 278/ μ l (5.4%)と低下し、掻痒は消失した。

〔症例2〕90歳女性。頸部～体幹に掻痒が持続し、抗ヒスタミン剤を2ヶ月間以上投与したが掻痒が軽快しなかった。IgE 52 IU/mlであったがEos 2367/ μ l (34.2%)を認めたため、N19〔7.5g/日〕を追加で開始。約4週間後、Eos 1628/ μ l (26.6%)と低下し、掻痒は軽減(四肢の掻き傷がほぼ消失)した。

【結論】

N19のアレルギー性疾患に対する作用は不明な点もあるが、I型アレルギー反応以外の機序に拠るアレルギー反応に対しても抗アレルギー作用を示すとの報告もみられる。今回の検討から、高齢者の皮膚掻痒症でEos増加を伴う場合には、N19が有用である可能性が考えられた。